

動物実験に関する検証結果報告書

富山県立大学

動物実験に関する外部検証事業

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 29 年 3 月

平成 29 年 3 月 27 日

富山県立大学
学長 石塚 勝 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する外部検証事業
検証委員会



対象機関：富山県立大学

申請年月日：平成 28 年 7 月 29 月

訪問調査年月日：平成 28 年 10 月 25 日

調査員：三浦 龍一（東京大学）

検証の総評

富山県立大学は工学部を有する単科大学であり、動物実験は生物工学専攻で行われている。文部科学省の動物実験基本指針（以下「基本指針」とする）と環境省の実験動物飼養保管基準（以下「飼養保管基準」とする）に適合した機関内規程があり、学外委員 1 名を含む 6 名からなる動物実験委員会を組織している。必要とする項目がそろった各種様式や実験動物の飼養保管にかかる各種マニュアルがあり適正な実施体制が整備されている。委員会にかかる記録や動物実験の終了報告等から適切な活動が認められる。遺伝子組換え動物の使用があり、関連委員会との連携により把握されている。遺伝子組換えマウスの繁殖を行う本格的な SPF 動物室があり適切に維持管理されている。ホームページで情報を公開するが、既に集計してある動物種・数等の項目も公開すべきである。軽微ではあるが一部改善すべき点があるため、早急な修正や対応が望まれる。全体的にみて、基本指針に適合した適切な実験動物の飼養と動物実験の実施が認められる。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

基本指針および飼養保管基準に基づいた機関内規程が制定されている。しかし、一部不足している項目が認められる。よって、「機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

4) 改善に向けた意見

基本指針にある委員の 3 要件（動物実験等に関して優れた識見を有する者、実験動物に関して優れた識見を有する者、その他学識経験を有する者）や実験動物管理者等を規定する条文を追加すべきである。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

委員会は外部委員 1 名を含め計 6 名で構成され、3 要件に合致する委員が含まれる。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験の実施にかかる各種様式があり、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の実施状況を把握できる体制が定められている。動物実験計画書の様式には必要とする項目がそろっている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理をする動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え動物を飼養保管し動物実験で用いている。動物実験計画書には、動物実験委員会の判定のなかに遺伝子組換え実験安全委員会の承認を確認する欄があり把握する体制ができている。よって、「該当する動物実験の実施体制が定められている。」とする。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は 2 か所ありともに実験動物管理者が選任されている。具体的な実験動物飼養保管マニュアルや緊急時マニュアルを備えている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

毎年度初めに委員会を開催し、前年の自己点検・評価とともに動物実験計画の終了の把握と動物実験計画書の審査が行われている。議事録の確認から適正に活動していることが確認できる。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

最近 5 年間に承認された動物実験計画書は 10 件以内であり、継続する動物実験計画であっても毎年終了報告書を提出し、実施状況の確認を行ったうえで、再度、動物実験計画の審査を行っている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理をする動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換えマウスを用いた動物実験が行われている。遺伝子組換え実験安全委員会が設置され動物実験委員会の委員 2 名が兼任し相互に把握できている。病原体の感染実験や有害物質を使用する実験は行われていない。よって、「該当する動物実験が適正に実施されている。」とする。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物種はマウス、ラットであり、主たる飼養保管施設では遺伝子組換えマウスの飼育繁殖が行われており、マニュアルに従って SPF 状態が維持されている。また不定期ではあるが微生物モニタリングが行われている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管室と隣接する実験室は整理整頓され衛生的であり、建物・設備の老朽化はない。主たる飼養保管施設は、典型的な SPF 管理が行われている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

毎年の受講者はほとんどが卒業論文のために動物実験を行う学生である。教育内容として動物の取扱いは充実しているが、基本指針や学内規則の説明、動物実験の実施上の注意点等が不足しているので追加する必要がある。よって、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験に関する最新情報の収集を行い、教育訓練の内容の充実を図られたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

毎年自己点検・評価が行われ、ホームページに公開している。しかし、動物種や動物数等の標準的な情報公開項目のいくつかの公開はされていない。よって、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物種や動物数についてはすでに集計されているので、情報公開が望まれる。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

おおむね適正に実施されているが、一部改善すべき点がある。しかし、そのすべては軽微な改善点であり早急な対応が望まれる。